

## 翻訳にあたってのヒント

### その 74

#### 「以上」について

例えば、「18歳以上入場可、18歳以下入場お断り」「課長以上の者は決裁可、課長以下の者は決裁不可」という日本語文があるとする。これは厳密に言えば、誤った文であり正しくは「18歳以上入場可、18歳未満入場お断り」「課長以上の者は決裁可、課長未満の者は決裁不可」とするのが普通であろう。日本語では以上・以下がいい加減に使い分けられている文が少なくない。「～以上」「～以下」という表現は、どちらも～にあたる始点を含むからである。これまでの翻訳経験で、このような変な文章に何回かお目にかかったことがある。無論、このような日本語をそのまま英訳するにはいかないので、先のような提言をして適切に英訳したことはいうまでもない。

また「one or more ...s」という英語が「一つ以上の～」と訳されている日本語がよくあるが、これもいただけない。せめて「一つかそれ以上の～」「一つまたは複数の～」と訳せないものかと筆者は考えている（他にも文脈に応じていろいろな訳出パターンがあるが、くどくなるのでここではあえて伏せておく・・・）。「more than one ...」という英語もあるが、これも厳密に言えば「一つを超える～」がその意味であり「two or more ...s」に相当する英語であるから、「一つ以上の～」は誤訳で、一つを超える～つまり「二つ以上の～」あるいは「複数の～」が適切な日本語訳だといえよう（この常識は、more than two ...s, more than three ...s 等にもあてはまる）。「one or more times」にいたっては、これも「一回以上」とするよりは、「一回か数回以上（にわたって）」とした方が自然な日本語である。

基本的に、「○は～以上である」に相当する英語には、以下のような4パターンがある。

■ ○は10以上である。(○ ≥ 10)

- [1] ○ is not less than 10.
- [2] ○ is 10 or (and) more.
- [3] ○ is equal to or (and) more than 10.
- [4] ○ is 10 or (and) above.

ちなみに言うまでもないことだが、「more than one ...」の場合は、...に単数形が来るので当然ながら動詞は単数対応形で受け、逆に「two or more ...s」の場合は...に複数形が来るので動詞も複数対応形で受けるということも付記しておこう。

#### ◆ 豆知識：

多くの辞書には、「a number of ...s」の訳として「多数の～」という定義が載っているが、「いくつかの～、いくらかの～、複数の～、若干の～」を意味する場合が多々ある。これは英語の文脈から多数の～とするとおかしいと思われるときに使え、そうした訳出し

た方がいいとする場合の目安になる。活用していただきたい。また「多数の～」を英訳するのであれば「**a great (large, good) number of ...s**、**quite a number of ...s**」と訳出すれば誤解が少ない（名詞が可算名詞の場合）。また普通の文ではお目にかからないが技術文では、「**a plurality of ...s**」が「複数の～」を示すときによく用いられる。

以上これにて第 74 回目終わり。